



STAR'S REPORT

2019年12月期 中間報告書

スター精密株式会社

証券コード：7718

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに2019年12月期中間期(2019年1月1日から2019年6月30日まで)の事業の概況についてご報告申し上げます。

2019年9月

代表取締役社長 佐藤 衛



> 当中間期の業績について

当中間期における当社グループの主要関連市場におきましては、当社関連の工作機械市場では、英国のEU離脱問題が長引く欧州市場で設備投資を控える動きがみられたのを除き、需要は総じて堅調に推移しました。特機事業

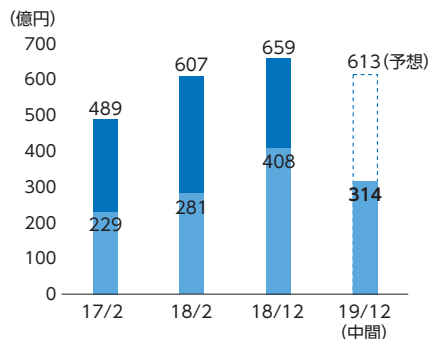
に係るPOS関連市場においては、国内市場の需要は好調に推移したものの、海外市場では欧州市場を中心に需要は伸び悩みました。精密部品関連市場では、時計部品および非時計部品ともに需要は低調に推移しました。

このような状況のなか、当中間期の売上高は、314億1

連結業績ハイライト

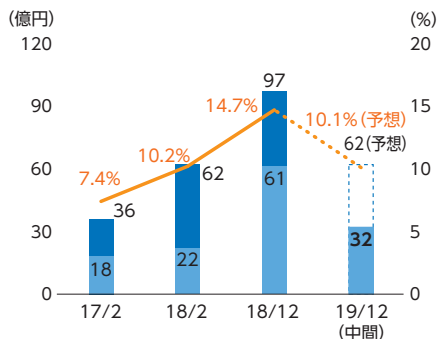
売上高

■ 中間 ■ 通期



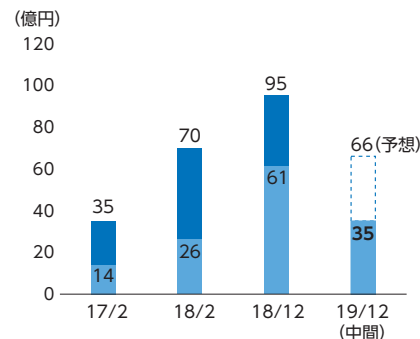
営業利益／営業利益率

■ 中間 ■ 通期 — 営業利益率



経常利益

■ 中間 ■ 通期



(注)2018年12月期は決算期変更のため、当社および国内連結子会社は10カ月間・海外連結子会社は12カ月間の変則決算となっております。

千2百万円となりました。利益につきましては、営業利益は32億6千9百万円、経常利益は35億3千6百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は精密部品事業関連の事業構造改革費用の計上もあり、24億6百万円となりました。

> 通期の見通しについて

今後の世界経済につきましては、米中の通商問題、英国のEU離脱問題の動向など先行き不透明な状況が続くことが見込まれます。

このような状況のなか、通期の連結業績につきましては、当中間期の実績に加え、第3四半期以降も工作機械事業において中国市場向けの販売は好調を維持する一方、主に欧州市場向けの販売が低調に推移するものと見込まれることから、売上高は613億円、利益につきましては、営業利益は62億円、経常利益は66億円、親会社株主に帰属する当期純利益は44億円を見込んでいます。

> 株主還元について

株主還元につきましては、自己株式の取得を含む連結総還元性向50%以上を基準にDOE（連結株主資本配当率）を勘案しながら実施していくことを基本方針としております。

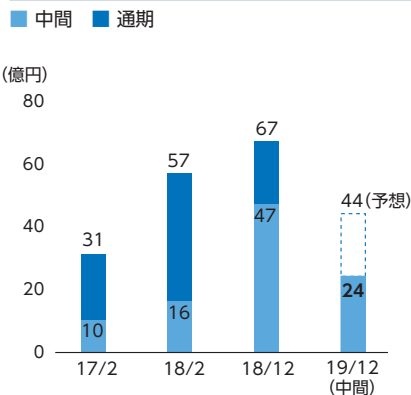
この方針に基づき、当期の1株当たりの中間配当は、前期の中間配当に比べ1円増配の28円とさせていただきます。

期末配当につきましても同じく1株当たり28円を予定しており、中間配当とあわせた当期の年間配当予想は、前期に比べ2円増配の56円となります。

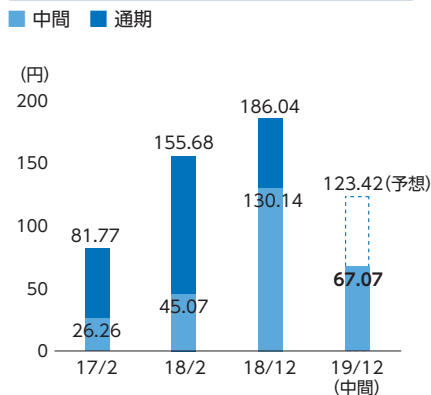
また、資本効率の向上と株主還元の充実を図るため、2019年8月9日開催の取締役会で株数800千株、金額10億円を上限とする自己株式の取得を決議しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

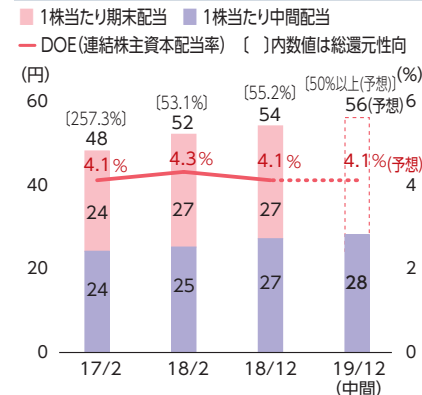
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

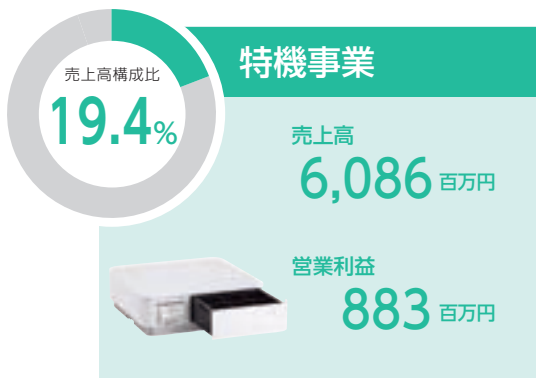


1株当たり四半期(当期)純利益



株主還元

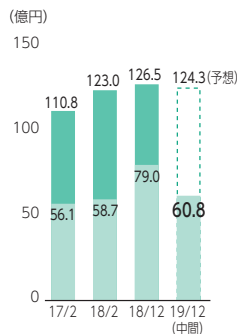




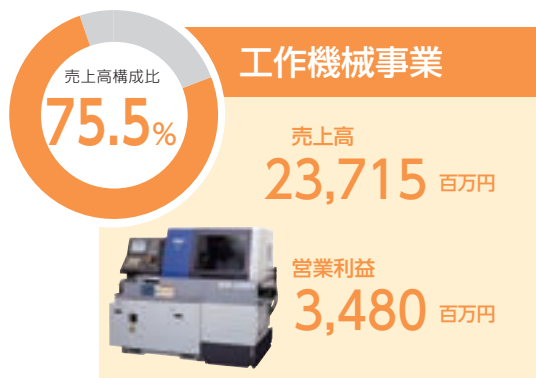
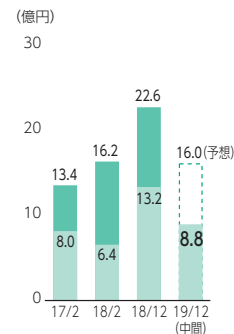
▶ 当中間期のポイント

- 米国市場はサーマル製品の堅調な需要により販売は底堅く推移
- 欧州市場は市況の低迷により販売は伸び悩み
- アジア市場は中国においてドットインパクト製品の需要が落ち込むなど、販売は低調に推移
- 消費増税を控える国内市場では販売は好調に推移

売上高 (■中間 ■通期)



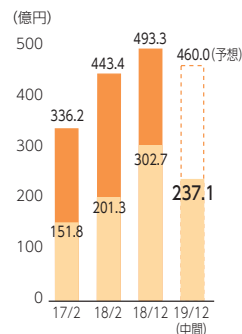
営業利益 (■中間 ■通期)



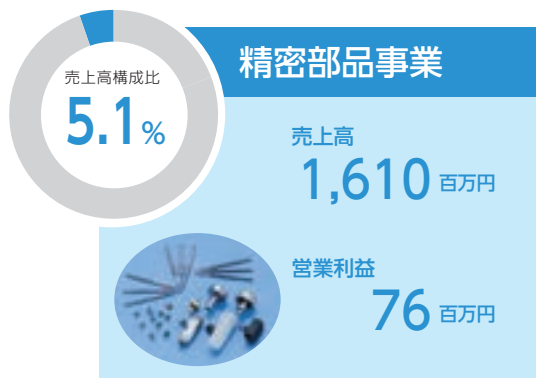
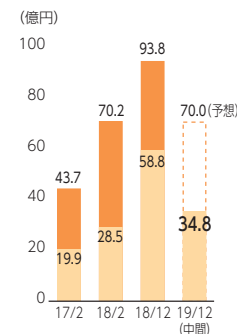
▶ 当中間期のポイント

- 米国市場は医療関連を中心に販売は堅調に推移
- 欧州市場は英国のEU離脱問題などの影響により市況が低迷し、販売は低調に推移
- アジア市場は中国において医療関連や通信関連の販売が引き続き好調を維持
- 国内市場は一部で設備投資に慎重な動きがみられたものの、販売は堅調に推移

売上高 (■中間 ■通期)



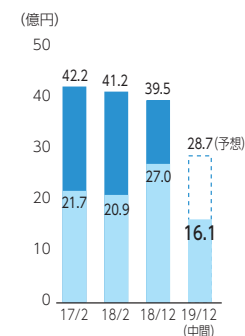
営業利益 (■中間 ■通期)



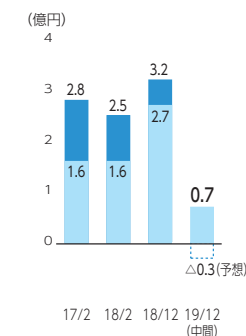
▶ 当中間期のポイント

- 時計部品は腕時計メーカーの在庫調整等の影響により、非時計部品は中国における需要の落ち込みや海外生産拠点の再編等の影響により、ともに販売は低調に推移

売上高 (■中間 ■通期)



営業利益 (■中間 ■通期)



(注) 2018年12月期は決算期変更のため、当社および国内連結子会社は10カ月間・海外連結子会社は12カ月間の変則決算となっております。

「中国国際工作機械展覧会(CIMT)2019」に出展

2019年4月、中国・北京市において第16回中国国際工作機械展覧会(CIMT)2019が開催されました。CIMTは2年に1度開催される中国最大の工作機械展覧会で、日本のJIMTOF(日本国際工作機械見本市)と並び、世界4大工作機械展覧会の一つです。

当社ブースでは、新製品である主軸固定型自動旋盤「SK-51 type D」やスイス型自動旋盤「SR-38J」を含む合計5機種を展示しました。その中でも、「SK-51 type D」は、多くの来場者から注目を浴びました。本機種は自動車や建設機械関連などの大径部品加工をターゲットとした製品であり、小径加工用のスイス型自動旋盤の枠を越えた大径加工へのニーズの高まりを受け、誕生したものです。

今後も工作機械市場でのシェア拡大のため、主軸固定型自動旋盤のさらなるラインアップ拡充を予定しています。



SK-51 type D

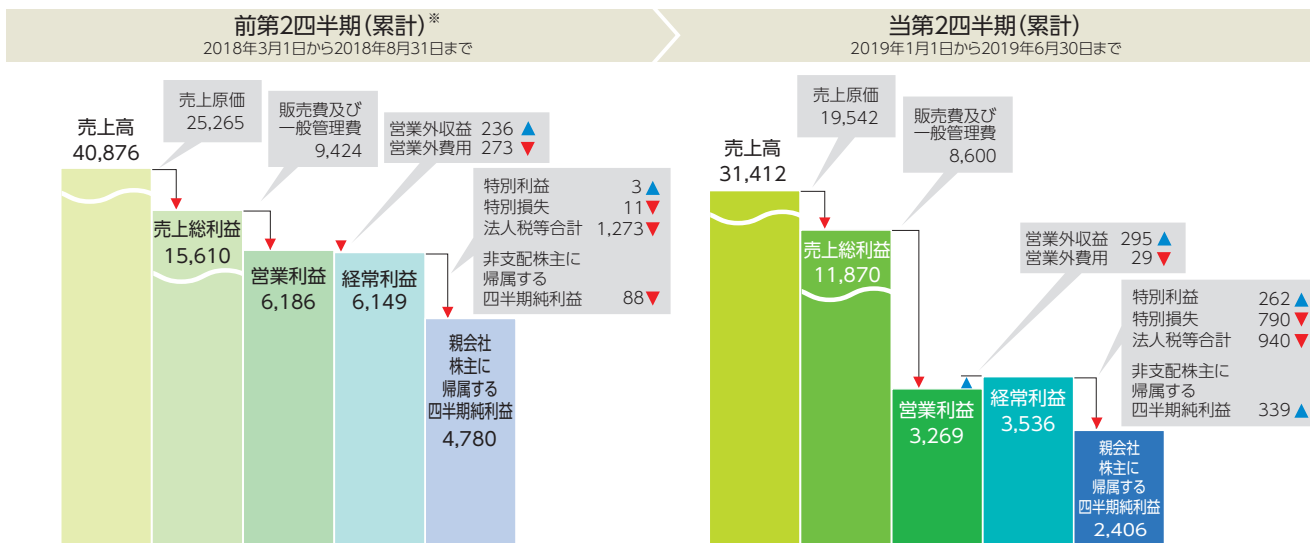
「リテールテックJAPAN 2019」に出展



2019年3月、「リテールテックJAPAN 2019」が東京ビッグサイトにて開催されました。リテールテックは、流通業界に最新のIT機器やシステムを紹介する国内最大級の展示会です。当社は「mCollection®が叶えるmPOSのトータルサポート」をテーマとし、国内販売子会社スターマーケティングジャパンと初の共同出展をしました。

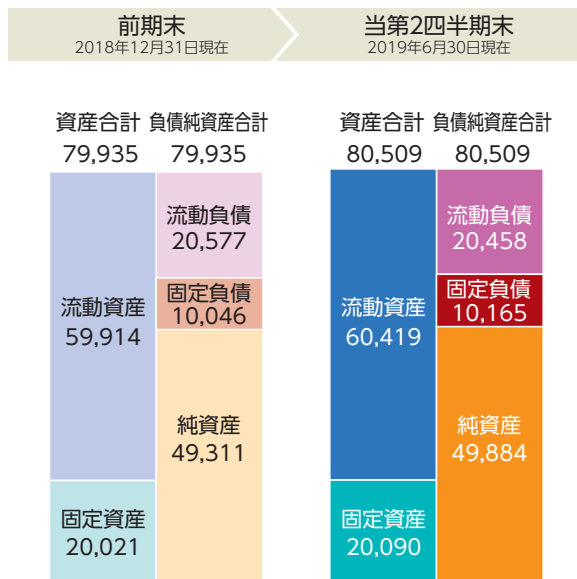
「mCollection®」は、2018年に誕生したプリンターを核としたmPOSに最適なハードウェア群であり、スタイリッシュなデザインと使いやすさを兼ね備えた製品は、高い評価を得ています。キューブ型の小型プリンター mC-Print®などの既存の製品をはじめ、新製品のキッチン用メロディスピーカーmC-Sound™、決済端末専用スタンドmC-Stand™および自動釣銭機をmPOSで利用可能にするmC-Bridge™を展示し、連日多くのお客さまにお越しいただきました。

▶ 四半期連結損益計算書の概要 単位:百万円

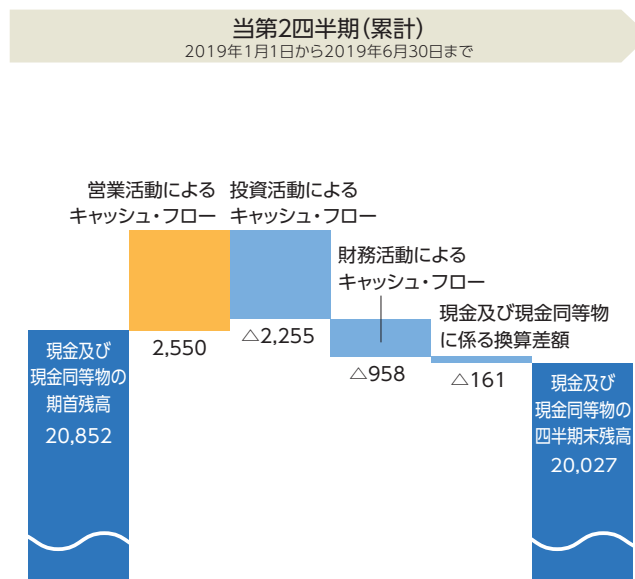


※前第2四半期(累計)は決算期変更のため、当社および国内連結子会社は6カ月間・海外連結子会社は8カ月間の変則決算となっております。

▶ 四半期連結貸借対照表の概要 単位:百万円



▶ 四半期キャッシュ・フロー計算書の概要 単位:百万円



▶ 会社概要

設立 1950年7月6日
 資本金 127億2千1百万円
 従業員数 503名

(注) 契約社員等の当中間期の平均雇用人員42名を除いております。

営業品目 1.特機(小型プリンター)
 2.工作機械(CNC自動旋盤等工作機械)
 3.精密部品(腕時計部品、自動車用・空調機器用・医療用等部品)

▶ 役員 (2019年7月1日現在)

代表取締役 会長	佐藤 肇
代表取締役 社長	佐藤 衛
常務取締役	田中 博
社外取締役	岩崎 清悟
社外取締役 常勤監査等委員	本多 道昌
社外取締役 監査等委員	洞江 秀
社外取締役 監査等委員	杉本 基

上席執行役員	村上 淳一
上席執行役員	青木 隆之
上席執行役員	杉浦 啓之
上席執行役員	山梨 正人
上席執行役員	笹井 康直
執行役員	西沢 良和
執行役員	寺尾 和芳
執行役員	増田 文雄

▶ グローバルネットワーク

国内拠点

事業所 国内子会社

- 本社部門・特機事業部 (株)ミクロ礼幌
本社
- 特機事業部
庵原工場
品質技術センター
- 機械事業部
菊川工場
東京営業所
大阪営業所
名古屋営業所
諏訪営業所
- 精密部品事業部
富士見工場
- スター精密グループ
東京オフィス

海外拠点

北米

- スターマイクロニクス
アメリカ・INC(米国)
- スター CNC
マシンツール Corp.(米国)
- スターアメリカ
ホールディング・INC(米国)

欧州

- スターマイクロニクス
ヨーロッパ・LTD(英国)
- スターマイクロニクス・
AG(スイス)
- スターマイクロニクス
GB・LTD(英国)
- スターマイクロニクス・
GmbH(ドイツ)
- スターマシンツール
フランス・SAS(フランス)

アジア

- スターマイクロニクス サウスイースト
アジアCo., LTD(タイ)
- 天星精密有限公司(香港)
- 上海星昂機械有限公司(中国)
- スターマイクロニクス(タイランド)
Co., LTD(タイ)
- 斯大精密(大連)有限公司(中国)
- スターマイクロニクス
マニファクチュアリング
(タイランド)Co., LTD(タイ)
- 上海星栄精機有限公司(中国)

▶ 大株主(上位10名) 持株数(千株) 持株比率(%)

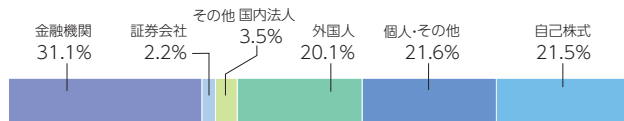
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,051	11.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,476	9.7
株式会社静岡銀行	1,582	4.4
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE HCR00	1,191	3.3
ザ バンク オブ ニューヨーク メロン 140042	769	2.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	674	1.9
鈴木 通	633	1.8
ザ バンク オブ ニューヨーク メロン 140051	553	1.5
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティー 505234	543	1.5
ジューピー モルガン チェース バンク 385151	529	1.5

(注1) 当社は、自己株式 9,851千株を保有しております。なお、当社は2019年8月9日開催の取締役会で800千株を上限とする自己株式の取得を決議しております。
 (注2) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

▶ 株式状況

発行可能株式総数	158,000,000株
発行済株式総数	45,772,234株
株主数	9,846名

▶ 所有者別分布状況



事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
剰余金の配当の基準日	期末配当 12月31日 中間配当 6月30日
定時株主総会の基準日	毎年12月31日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 《郵送先》〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座の口座管理機関	東京証券代行株式会社
同連絡先	東京都千代田区神田錦町三丁目11番地(NMF竹橋ビル6F) 電話 0120-49-7009(通話料無料) 《郵送先》〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL (https://www.star-m.jp)
単元株式数	100株

● ホームページのご案内

当社のホームページでは、会社情報、IR情報や新製品に関するお知らせなどさまざまな最新情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

<https://www.star-m.jp>



株式に関するお手続きについて

お手続き内容	お問合せ窓口	
	証券会社に口座をお持ちの株主様	証券会社に口座をお持ちでない株主様
<ul style="list-style-type: none"> ● 住所・氏名等のご変更 ● 単元未満株式の買取および買増請求 ● 配当金の受領方法のご変更 	口座をお持ちの証券会社	特別口座の口座管理機関 東京証券代行株式会社 《連絡先》 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地(NMF竹橋ビル6F) 電話 0120-49-7009(通話料無料) ※三井住友信託銀行株式会社全国本支店(コンサルティングオフィス・コンサルプラザを除く)においてもお取次しております。 《郵送先》 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター
<ul style="list-style-type: none"> ● 未受領の配当金に関するお問合せ ● 郵便物についてのお問合せ・再送付のご依頼 ● 株式事務に関する一般的なお問合せ 	すべての株主様	
	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行 本支店でお支払いいたします。 《連絡先》 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 《郵送先》 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	

スター精密株式会社

〒422-8654 静岡県静岡市駿河区中吉田20-10
TEL.054-263-1111 FAX.054-263-1057



見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用
しています。

